



月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

1 教科書 6 ページの **1** を声に出して読みましょう。

(1) プリン 1 こ分のねだんを求める式をかきましょう。

(2) ケーキ 1 こ分のねだんを求める式をかきましょう。

(3) 教科書 162 ページの「もどる」考えを声に出して読みましょう。

2  $120 \div 3$  の計算のしかたを、教科書 7 ページのように、 や  を使って説明をします。□の中にあてはまる数をかきましょう。

$120 \cdots \cdots 10$  が 12 こ  
 $120 \div 3 \cdots \cdots 10$  が  $(12 \div 3)$  こ  
 $120 \div 3 = \square \quad \square$  円

3  $600 \div 3$  の計算のしかたを説明します。□の中にあてはまる数をかきましょう。

$600 \cdots \cdots 100$  が 6 こ  
 $600 \div 3 \cdots \cdots 100$  が  $(6 \div 3)$  こ  
 $600 \div 3 = \square \quad \square$  円

4 教科書 7 ページの **2** の問題に取り組みましょう。

①  $360 \div 6$

②  $630 \div 9$



③  $200 \div 5$

④  $400 \div 2$

⑤  $700 \div 7$

⑥  $1400 \div 7$

5 まとめです。次の ( ) の中を声に出して読みましょう。

 や  の何こ分という意味にもどって考えると、かんたんなわり算で計算することができます。

「角とその大きさ」

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

1 教科書 11 ページを開きましょう。

色紙 3 まいとわりばし 2 本を使って、「まるく開くおうぎ」をつくりましょう。

※ 教科書のつくり方を見て、つくりましょう。

2 教科書 12 ページ、13 ページを開きましょう。

(1) ①～⑨の順で、おうぎを開いて、いろいろな大きさの角をつくってみましょう。ただし、②の角をつくったら、①のようにおうぎを閉じてから③の角をつくりましょう。④～⑨の角をつくる時も同じようにしましょう。

(2) おうぎを開いて、直角をつくりましょう。直角は、①～⑨の何番になりますか。右の□に番号をかきましょう。

(3) あてはまる<sup>ことば</sup>言葉に○をつけましょう。

ア おうぎが⑤の状態の<sup>じょうたい</sup>ことを（半回転・一回転）とよびます。

イ おうぎが⑨の状態の<sup>じょうたい</sup>ことを（半回転・一回転）とよびます。

3 まとめです。次の（ ）にあてはまる<sup>ことば</sup>言葉や数をかきましょう。

ア. 1つの頂点から出ている2つの辺がつくる形を（ ）といいます。

イ. 直線がどれだけ（ ）かで、角の大きさがきまります。

ウ. 半分開くと直角の（ ）こ分、全部開くと直角の（ ）こ分の角ができます。

「角とその大きさ」

教科書 14 ページ～15 ページ

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

1 教科書 14 ページの **1** を声に出して読みましょう。

(1) 教科書 169 ページのうすい紙を重ねて、㊸と㊹の角の大きさをくらべてみましょう。どちらがどれだけ大きいかわかりますか。あてはまる言葉に○をつけましょう。

( わかります ・ わかりません )

(2) 次の ( ) にあてはまる言葉をかきましょう。

ア. 長さやかさのように、角の大きさも ( ) で表せるといいです。

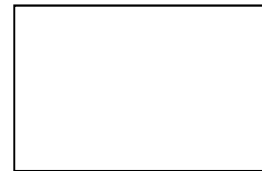
イ. 角の大きさをはかるには、( ) を使います。

2 次の ( ) の中を声に出して読みましょう。

度 (°) は、角の大きさの単位です。角の大きさのことを角度ともいいます。

3 直角 (90°) の印を教科書 15 ページ

を見て、右の□にかきましょう。



4 教科書のうしろにある分度器を見て、気づいたことをかきました。次の ( ) にあてはまる言葉や数をかきましょう。

ア. 10、20、30、…と ( ) ずつ大きくなっています。

イ. 0 と 180、10 と 170 が ( ) 線の上にあります。

5 教科書 14 ページと 15 ページの「角の大きさのはかり方」を読んで、

**1** の㊸と㊹の角の大きさをはかりましょう。

また、どちらがどれだけ大きいかも答えましょう。

㊸の角の大きさは  °、㊹の角の大きさは  ° です。

の角は、 の角より  ° 大きいです。

「角とその大きさ」

教科書 16 ページ～17 ページ

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

1 教科書 16 ページの 3 を声に出して読みましょう。

(1) 分度器を使って、㊸と㊹の角の大きさをはかろうとすると、下の□の中にあるようなこまったことがありました。( ) にあてはまる言葉をかきましょう。

ア. ㊸の角では、( ) の長さが短いです。  
イ. ㊹の角では、㊸の角と向きが ( ) です。

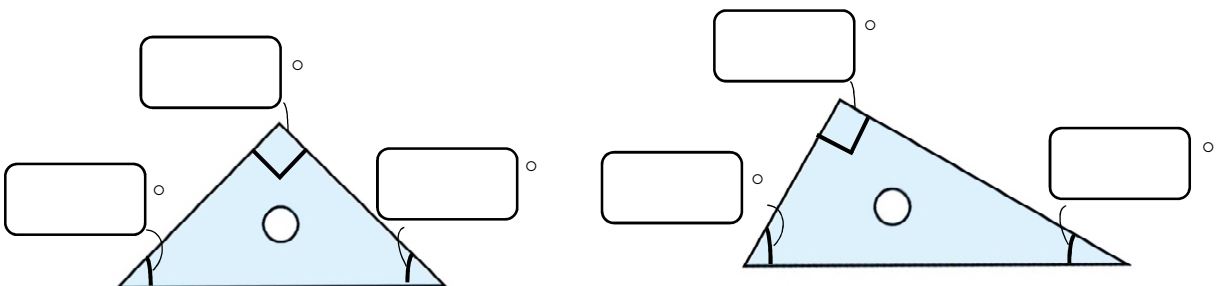
(2) ㊸と㊹の角の大きさを、教科書のように、くふうしてはかりましょう。角度を下の□にかきましょう。

㊸の角の大きさは □ °、㊹の角の大きさは □ ° です。

2 教科書 17 ページの 4 の問題に取り組みましょう。角度を下の□にかきましょう。

㊸の角の大きさは □ °、㊹の角の大きさは □ ° です。

3 三角じょうぎの角の大きさをはかりましょう。



4 まとめです。次の ( ) にあてはまる言葉や数をかきましょう。

辺の長さが短いときは、辺の長さを ( )。向きが反対のときは、左の ( ) ° から 10°、20°、30°、・・・とよんでいきます。

「角とその大きさ」

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

1 教科書 18 ページの 1 を声に出して読みましょう。

(1) 分度器を使わないで、あといの角の大きさを求めましょう。No4のプリントの三角じょうぎの角の大きさを使って、考えましょう。

あの角の大きさは  °、いの角の大きさは  ° です。

(2) あといの角の大きさを、計算で求めます。次の□にあてはまる数をかきましょう。

あ式  ° +  ° =  °

い式  ° -  ° =  °

(3) あといの角の大きさを、分度器を使って、たしかめましょう。

2 まとめです。次の ( ) の中を声に出して読みましょう。

角の大きさも、長さやかさのときと同じように、たしたりひいたりすることができます。

3 教科書 19 ページの 2 の問題に取り組みましょう。  
計算で求めましょう。

あの式

いの式

あの角の大きさは  °、いの角の大きさは  ° です。

「角とその大きさ」

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

1 教科書 20 ページの 1 を声に出して読みましょう。

(1) ㉞の角の大きさは、だいたいどれくらいになるでしょう。あてはまるものをえらび、( ) に○をつけましょう。

①  $0^\circ$  から  $90^\circ$  ( )      ②  $90^\circ$  から  $180^\circ$  ( )

③  $180^\circ$  から  $270^\circ$  ( )      ④  $270^\circ$  から  $360^\circ$  ( )

(2)  $180^\circ$  をこえる角の大きさのはかりかたを、教科書 20 ページのだいちさんと、ひなたさんの考えをもとに、考えましょう。

(3) 次の□にあてはまる数をかきましょう。

半回転してできる角の大きさは   $^\circ$  です。

一回転してできる角の大きさは   $^\circ$  です。

(4) ㉞の角の大きさを、半回転や一回転の角の大きさから求めます。教科書 21 ページの図をもとに、だいちさんとひなたさんの考えを式に表しましょう。

だいちさんの考え      式  =   $^\circ$

ひなたさんの考え      式  =   $^\circ$

2 まとめです。教科書 21 ページの 2 の問題に取り組みましょう。

考えが分かるように、下の ( ) に式をかきましょう。

㉞の角の大きさは   $^\circ$ 、㉟の角の大きさは   $^\circ$  です。

( ㉞の式 )      ( ㉟の式 )